

# L5Sの線源測定、 折返しセンサーの影響について

NWU

並本ゆみか

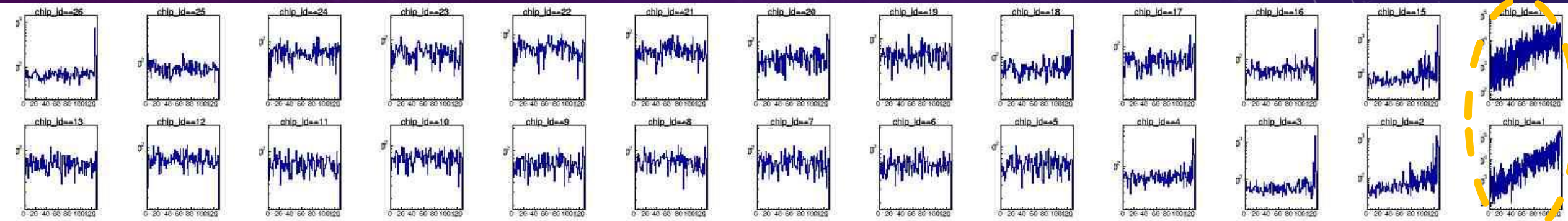
# 今週行ったこと

- L5 **S** の線源測定を行った(これまではずっとL5 **N** )
- FWD,RVSスイッチをchip13側に移動させて測定した(L5N)

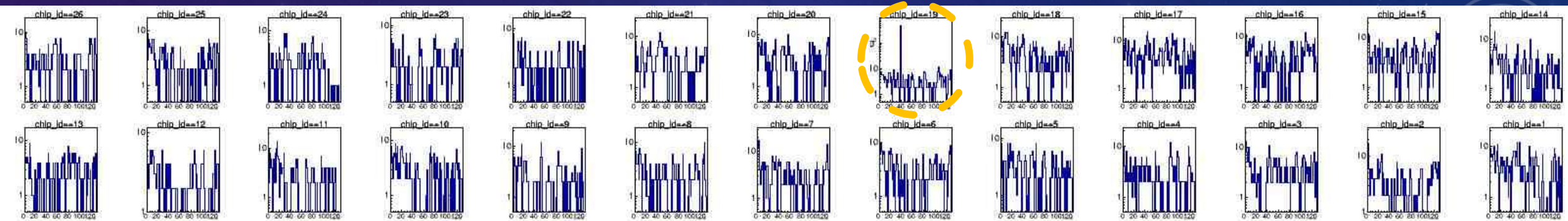
# L5Sの測定について

- まず線源を置かずに、コントロールボックスの電源ON/OFFでどれくらいノイズが来るのかを見た

## POWER ON

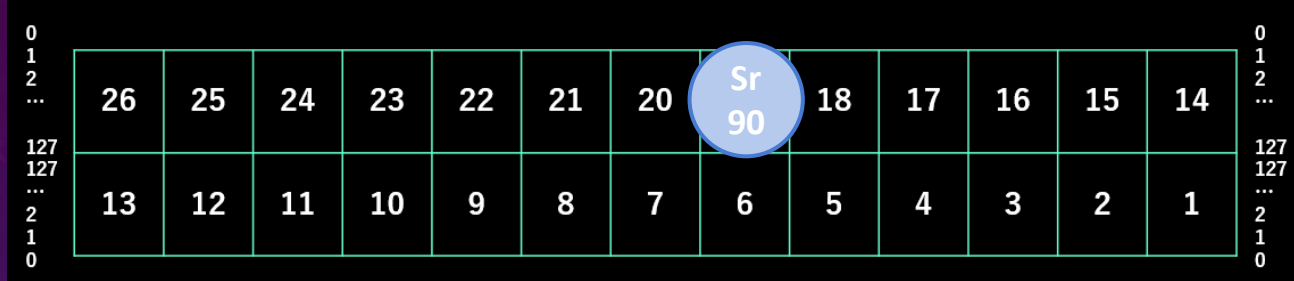


## POWER OFF

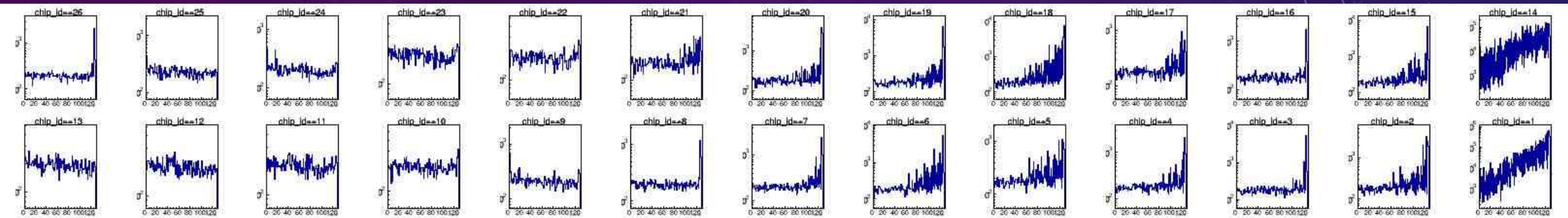


# L5Sの測定について

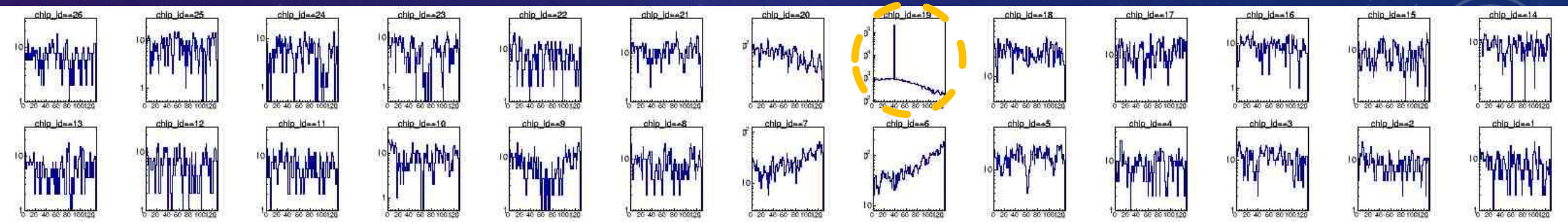
- 線源をchip19に置き、30分間測定を行った



## POWER ON

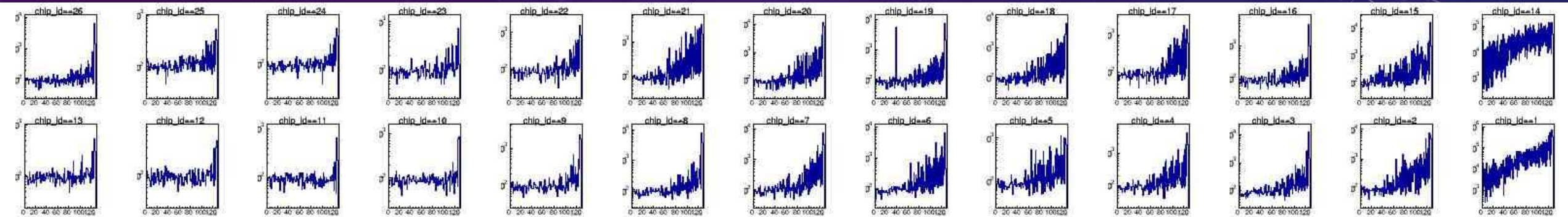
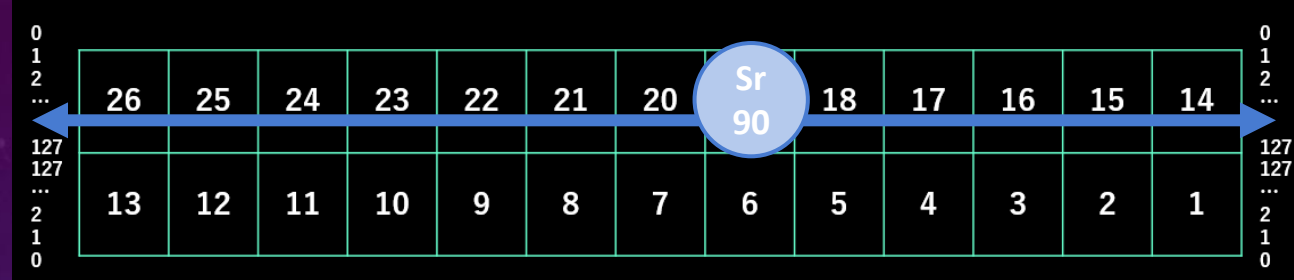


## POWER OFF



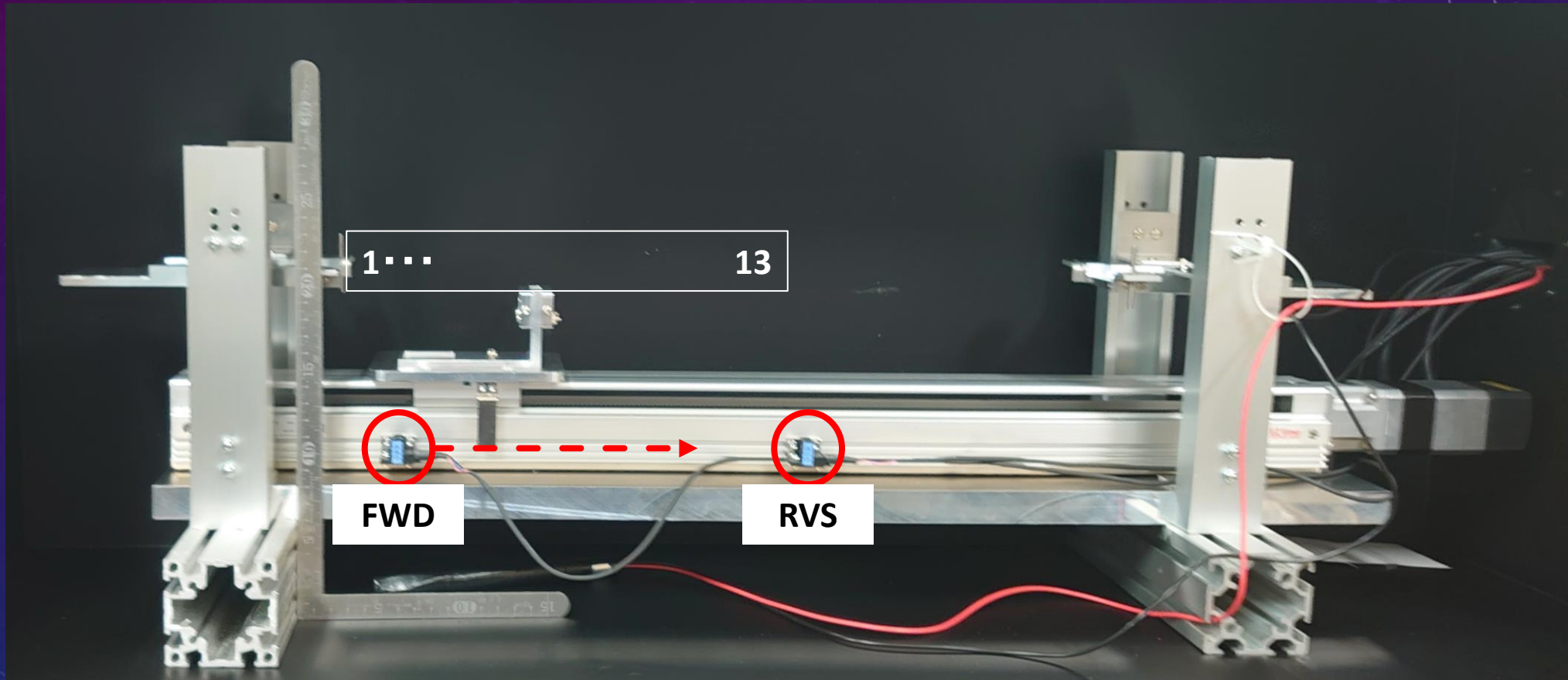
# L5Sの測定について

- 線源をchip13-26間で動かした



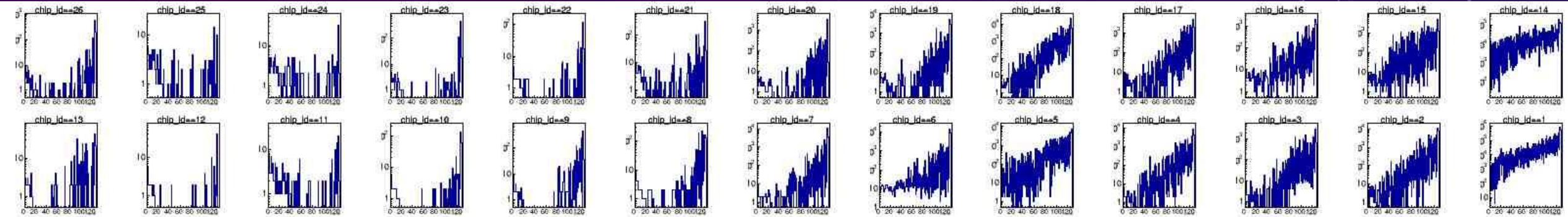
# 折返しセンサーの関連性

- 線源テーブルの位置変更センサーであるFWD,RVSをどちらもchip13に近づけて測定を行った

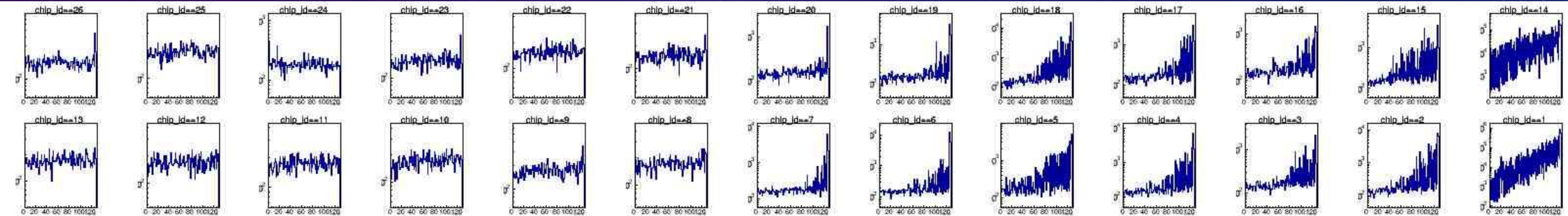


# 折返しセンサーの関連性

FWD at chip1



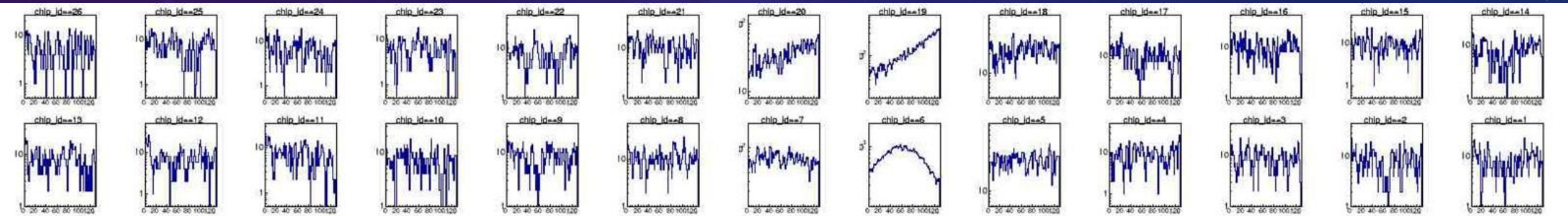
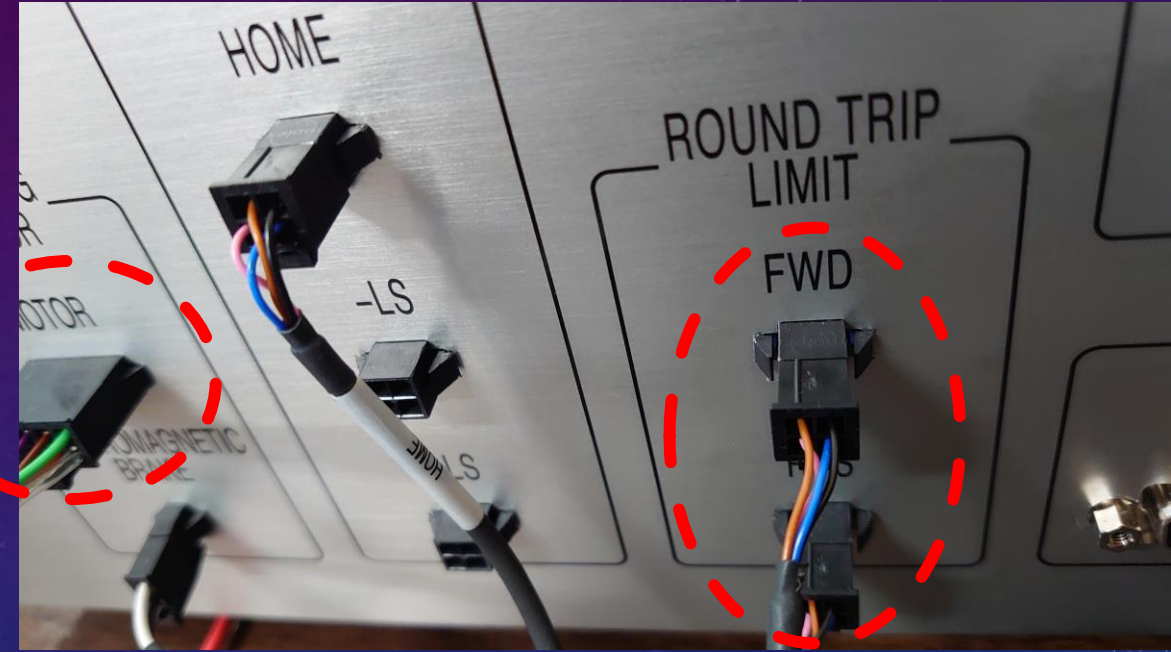
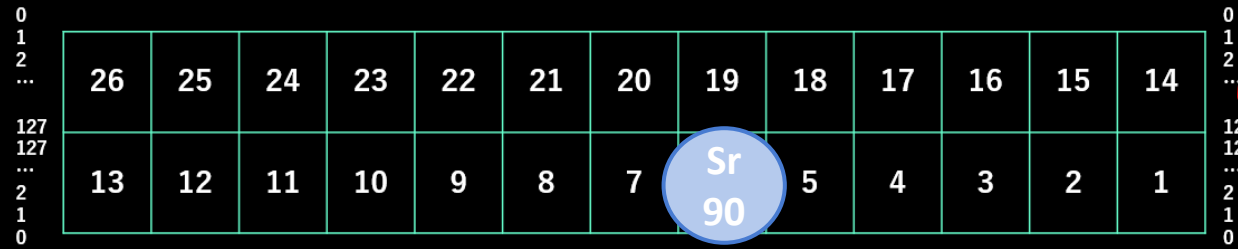
FWD at chip13



- ノイズの量が違いすぎて影響がわからない  
→複数回測定して、似たようなエントリーになるか調べる

# 折返しセンサーの関連性

- Ls,-LS,MOTORケーブルを抜き、FWD,RVSケーブルは刺したままで測定を行った



- FWD,RVSの影響があるとは考えにくい



# 今後の課題

- 長時間の外部トリガー測定を行ってみる
- FWD,RVSセンサーをchip13に動かしたときの測定を複数回行う
- 学会発表の準備
  - 発表する内容を決める
  - 必要な実験、シミュレーションを行う
  - スライドを8月中に完成させる
- L6の測定を行う
- NIMファンから異音がするので蓋を開けてみる